

法吉小学校だより



法吉っ子



令和8年10月 文責 校長：伊藤英俊

法吉小のホームページも

どうぞご覧ください⇒



ほん気で考える子・つよい心をもった子・きょうも元気な子・このまちを大切にする子

◆音楽会に向けて

今年も、あちらこちらからリコーダーや鍵盤ハーモニカ、木琴、打楽器などの音色が聞こえてきました。そして、聞こえてくる歌声や合奏の音が、日に日に重なり合い、豊かな響きとなって校舎を包み込んでいます。いよいよ来週に迫った音楽会に向けて、こどもたちの練習にも熱が入ってきました。

脳科学の研究では、人と音を合わせて演奏したり歌ったりする際、脳波や心拍が同調し、深い共感や一体感が生まれるといわれています。一つの曲を作り上げる過程は、単に音を合わせるだけでなく、隣の友だちの音に耳を澄ませ、お互いの呼吸を合わせるという「心を通わせる学び」そのものです。

一人一人の音は小さく、時にはつまずくこともあります。しかし、互いの違いを認め合い、支え合いながら音を重ねることで、自分ひとりでは決して作ることのできない大きな美しい響きが生まれます。こどもたちは音楽を通して、仲間と力を合わせる尊さと、自分の役割を果たす喜びを肌で感じています。

本番では、うまく演奏すること以上に、こどもたちが仲間と心をつなげて奏でる「今、ここでしか生まれない響き」を温かく受け止めていただければ幸いです。合奏や合唱の豊かな響きとともに、こどもたちの心が大きく成長する音楽会となることを、心より楽しみにしています。



◆自分の「V（ビジョン）」を語る勇氣

こどもたちの言葉や作文から、私たち大人がハッとさせられ、大切なことを教わることがあります。先日、6年生のある児童が提出した読書感想文を読み、胸が熱くなりました。読んだ本は『夢中が未来をつくる』（山中伸弥 著）です。

ノーベル賞を受賞された山中教授は、夢を叶えるために「VW（ビジョンとハードワーク）」の重要性を説かれています。明確な目標（V）を持ち、それに向かって努力を重ねる（W）ことの大切さを学んだ児童は、特に目指す方向を示す「V」について深く考え、こう振り返っていました。「私は自分の思いを口にするのが苦手で、否定されたらどうしよう、できなかったら恥ずかしいと考えてしまいがちでした」と。

失敗を恐れて心を閉ざしてしまうのは、大人の私たちにもよくある葛藤です。しかし児童は、目標に向かって努力（W）を続けるためにも、「明確なビジョンを周囲に知ってもらうこと」が不可欠だと気づき、次のように決意を新たにしていました。

「これからは自分のVを、相手の反応を気にしすぎず言ってみようと思います。言葉にすれば視野が広がり、知識や出会いが増え、苦しい時に支えてくれる言葉にも出会えるはず。そうすれば、まだ見つからない『夢中になれるもの』に出会えて、未来が広がると思うからです」

自分の目標を周りに語り、粘り強く行動することは、自らの学びを深め、良き理解者や応援者を引き寄せる「成長の第一歩」になります。こどもたちが勇気を出して自分の言葉で「V」を語り、「W」の一步を踏み出したとき、それを温かく受け止め、寄り添える大人でありたい——。児童の素直な決意から、大切なことを教えてもらいました。



◆朝の 15 分から広がる、「学びの集中」と「心と体のゆとり」

7月28日にお伝えしたとおり、2学期から朝の15分間「モジュール学習（短時間学習）」を進めています。週3回（計45分）でちょうど1コマ分の授業となります。

この背景には、文部科学省の通知「標準授業時数を大幅に超える授業時数の適切な設定等について」があります。過剰な授業時間を見直し、児童と教員の負担を軽減しながら質の高い教育を実現する取組です。本校でも日課を見直し、こどもたちがゆとりをもって学べる環境を整えました。



生み出した1時間分を活用し「金曜日の6校時をカット」することで、次のような効果が生まれてくると期待しています。

○短時間集中で「基礎学力」が確実に定着 朝の頭がすっきりと冴えている15分間は、計算ドリルや漢字などの反復学習に最適です。授業を進めることもあります。短時間で集中して取り組むことで、学習効果が高まります。

○週末の疲れをやわらげ、心と体に「ゆとり」を 一週間の疲れが出る金曜日に早く下校できることで、家庭で過ごす時間や地域での活動、読書や習い事など、こどもたちが自分の時間を豊かに過ごすことができます。

○ゆとりある安心した学校生活へ 無理のない日課はこどもたちの心に落ち着きを生み出し、笑顔で過ごせる学校生活や、一人一人に寄り添うきめ細やかな指導へとつながります。

「短時間でギュッと集中する学び」と「週末のゆとり」。この両立を大切にしながら、こどもたちの健やかな成長を見守ってまいります。

◆ありがとうございました、環境整備作業

10月4日(日)には、お忙しい中、多くの保護者の皆様に環境整備作業にお越しいただき、誠にありがとうございました。今回は、校舎周辺の草取りや溝掃除、1年生教室前の庭の草刈り、校庭の溝掃除などをしていただきました。特に溝掃除は、2年ぶりの作業となりましたので泥がたまっており重労働となりました。「環境が人をつくる」という言葉がありますが、環境整備作業できれいになった様子を見れば、こどもたちは清々しさを感じるものと思います。美しい環境をつくってくださりありがとうございました。



◆大雨が心配されるときに対応

今年は日本各地で「線状降水帯」が頻発し、甚大な浸水被害や、尊い人命が失われるという痛ましい災害が相次ぎました。報道等でその凄まじい状況を目にするたび、災害の恐ろしさを痛感させられます。

本校周辺の地理的状況を考慮いたしますと、強い雨が数時間降り続くだけで道路の冠水や河川の増水が起こりやすく、児童の登下校において非常に大きな危険が伴います。

近年の鉄道会社は安全を最優先して「計画運休」を実施しています。気象の予測には難しさがありますが、本校においても、気象庁の最新予測などにに基づき、児童の安全に懸念が生じる場合は、事前に臨時休校を判断する「計画休校」の考え方を取り入れ、できる限り早く予防判断をしてきたいと思います。

結果として「雨がそこまで降らずに済んだ(空振り)」となる場合もございますが、子どもたちの尊い命を守るための予防措置として、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



ほうきどり

お礼 校庭芝生管理、家庭科ボランティア、図書ボランティア、ベルマーク集計、読み聞かせ、
登下校の見守り、巡回見守り等、たくさんのご支援ご協力をありがとうございます。

電話:0852-21-4354 FAX:0852-21-4359 Mail:hokki-e@city.matsue.ed.jp